

ぎかいの話題

市民に開かれた議会を目指して

市議会の新たな試み

表紙及び本ページの写真は、6月議会の開会日のものです。大蛇山Tシャツで議会に臨むのは、大牟田市議会です。

今年、おおむた「大蛇山」まつりが、4年ぶりに通常開催されることとなり、市議会では、まつりの成功と盛り上がりにも貢献したいとの思いから、6月議会の開会日・閉会日に、全市議会議員、市長をはじめとした全理事者が議場での服装を、おおむた「大蛇山」まつり公式Tシャツに統一して臨みました。

議場での服装は、申し合わせにより、5月から10月はエコサマースタイルとして、上着の着用は自由としているところですが、今回、議会の開催に向けて、市議会各派の調整・協議、市長をはじめとした理事者の理解・協力が得られたことで、議場における大蛇山Tシャツ着用の統一が実現しました。

大牟田市議会では、引き続き、市民の皆さまが議会に対して、興味・関心を持っていただくためにも、開かれた議会への取組を進めていきます。



令和5年度 公式Tシャツ

公式Tシャツの売り上げ金は、まつり開催のための運営費として、貴重な財源となっている側面もあります。毎年、大牟田観光プラザや、大牟田市役所観光おもてなし課、市内の小売店等で販売されています。



市長、全理事者及び議長

子供たちが市議会を訪問

6月の第2日曜日の花の日にあわせて、6月12日に高取聖マリア幼稚園の園児から、正副議長が代表して花束と手紙をいただきました。子供たちの元気な声、笑顔に癒され、議員一同、改めて子供たちの将来を見据えたまちづくりを頑張らなくてはならないと感じたところです。



子供たちからのお手紙

議会報告会・意見交換会

今年度も地域、学生、団体等の皆さまと意見を交わし、いただいた意見を市政に反映させるため、議会報告会・意見交換会を予定しています。この取組は、開かれた議会として、貴重な機会、重要な活動と捉えています。